

生培地

ニッスイプレート

XM-G寒天培地

Nissui Plate XM-G Agar

製品コード **50034**

包装 100枚

希望納入価格 受注生産品

使用法

本品は食品衛生検査指針(II) 追補の〈参考〉にある発光酵素基質法を利用した大腸菌および大腸菌群をスクリーニングする培地で、大腸菌は特異的に保有する β -グルクロニダーゼによって基質X-GLUCを分解して青色色素を生成する。大腸菌群は特異的に保有する β -ガラクトシダーゼによって基質MAGENTA-GALを分解して赤色色素を生成する。大腸菌は両酵素を保有するため、青紫色～紫色の中間色になることがある。腸管出血性大腸菌O157は β -グルクロニダーゼを産生しないため大腸菌群として検出される。35℃で20±2時間、培養する。培養時間が長い場合は、大腸菌、大腸菌群以外の菌が発色することがある。乳酸菌を含む検体では、その酵素作用により赤色の発色が認められることがある。

貯法・使用期限

4～10℃に保存(禁凍結)。
5か月間。

備考

食品衛生検査指針(2004)

組成

培地1L中
ペプトン 10.0g
ビルビン酸ナトリウム 1.0g
L-トリプトファン 1.0g
D-ソルビトール 1.0g
塩化ナトリウム 5.0g
リン酸二水素ナトリウム 2.2g
リン酸一水素ナトリウム 2.7g
硝酸カリウム 1.0g
ラウリル硫酸ナトリウム 0.2g
5-プロモ-4-クロロ-3-インドリル-
 β -D-グルクロニド(X-GLUC) 0.1g
5-プロモ-6-クロロ-3-インドリル-
 β -D-ガラクトピラノシド(MAGENTA-GAL) 0.1g
カンテン 15.0g
pH7.0±0.2



日水製薬株式会社

〒110-8736 東京都台東区上野 3-24-6
URL : <https://www.nissui-pharm.co.jp>
E-mail : customer@nissui-pharm.jp

[カスタマーサポート]
Tel.03(5846)5707

SD1810A